



山梨県青年赤十字奉仕団

奉仕団構成

奉仕団区分	団数	人数
青年赤十字奉仕団	1 団	30人
合 計	1 団	30人

主な活動内容

(2015年3月31日現在)

団内研修、献血の推進、各種イベントの救護活動など。

奉仕団の最新情報

現在未開設です。

全国の青奉へのメッセージ

山梨県青年赤十字奉仕団では献血の推進を中心に活動しています。
他団の活動から様々なことを学び、取り入れて、より良い団にしていきたいと思えます。



<問い合わせ先>

日本赤十字社 山梨県支部

住所: 山梨県甲府市池田1丁目6-1

電話番号: 055-251-6711

FAX: 055-254-0351

URL: <http://www.yamanashi.jrc.or.jp/>



【概要】

山梨県内の大学生を中心に構成された奉仕団であり、主な活動は献血の推進やJRCの活動支援やサポート、各研修や所属ブロック協議会への参加、各イベントの救護活動です。まだまだ発展途中ですが山梨県支部として私たちに何ができるかを考え、活動を広げていきたいと思えます。

【主な活動内容】

〈七夕献血キャンペーン 7/5〉

甲府駅前、甲府中心街で献血の推進・啓発活動を行いました。主な活動はビラやティッシュの配布、着ぐるみによる呼びかけでした。多くの人と接することでやりがいを感じることも出来ました。

〈2ブロック連絡協議会(第一回) 6/21~6/22〉

2ブロック連絡協議会が山梨県ホストの下、富士緑の休暇村で開催されました。それぞれの議題について各都県の代表者と共に活発な議論を展開してきました。

※それぞれの項目と決定事項は以下の通りです。

○災害に対する取り組み

- ・県のマニュアルを参考に各都県に適した形で災害マニュアルを構成し、団内での共有を行う。

○HIV・AIDS要望 啓発活動の推進

- ・団内でHIV・AIDS要望啓発を知らない人をゼロにする。
- ・ピアリーダーを中心にブロック内での協力体制を構成し、予防啓発の力を付けていく。

○青年赤十字奉仕団内でのネットワーク

- ・各都県の団体を構築し、必要性や利便性に応じて全国で活用していく。

〈青少年赤十字LTC (高等学校) 8/6～8/7〉

震災想定 of 災害ボランティアセンター設営体験の補助と、救急法、搬送法体験のサポートをしました。

〈青少年赤十字LTC (小・中学校) 8/11～8/12〉

我々青奉団員が、小中学生に三角巾や心肺蘇生法、AEDなどの救急法体験を実施。その他にもフィールドワーク補助をしました。

※青少年赤十字LTC全体共通として業
計画作成の補助をし、JRCの生徒の
計画を共に具体性のあるものにし
ました。



〈非常食 炊き出し体験 9/20〉



私立甲斐清和高校の文化祭にて、JRCと
共同で、生徒向けに炊き出しの体験を行
いました。地域の方をはじめ、多くの方
々にハイゼックス袋を使用した非常食の炊
き出し方法をアピールすることができま
した。

〈2ブロック連絡協議会(第二回) 10/5〉

第一回2ブロック連絡協議会で協議した
事項を中心に、全国協議会での内容を
共有し、質問・確認事項、次年度に向
けての項目を出し合いました。



〈留学生との交流 10/5〉



留学生との交流を目的とし、山梨学院大学の学園祭を案内しました。日本語が通じたためスムーズに案内、説明をすることができました。茶道や勾玉作りなど、日本の文化なども体験させることができたため、とてもよい機会だったと思います。

〈武田の杜トレイルランニング救護活動 12/7〉

山梨県で開催された武田の杜トレイルランニングの救護スタッフとして、各救護ポイントで待機しサポート、案内をしました。団員のサポートは小さなものですが貢献することができ、達成感がありました。



〈春の献血キャンペーン 3/7〉



七夕献血キャンペーン同様、甲府駅前、甲府中心街で献血の推進・啓発活動を行いました。また、来年度の献血キャンペーンでは、もっと成果が出るように更なる工夫をしていきたいです。

〈その他〉

定期的に役員会を開き、支部との情報交換や今後の予定などの確認をしています。また定例会も開き、団内研修や交流を通し、団の活性化に努めています。